

(株)地主クリニカルサポート

在宅介護支援センター デイサービスたまゆら 【地域密着型通所介護】

運営推進会議開催 報告書

開催日時	
平成 31 年 3 月 5 日 (火) 14 : 00 ~ 15 : 00	
参加者	
利用者様	1 名
利用者家族様	1 名
地域住民代表 民生委員(西原)	1 名
地域ボランティア	1 名
地域包括支援センター	欠席
知見者 介護支援専門員	1 名
職員	1 名 (管理者)
会議次第	
(1) 開会のあいさつ (2) 出席者の紹介 (3) 事業所の紹介 (4) 活動状況の報告 (5) ヒヤリハットや事故等の報告 (6) 意見交換・質疑応答 (7) 閉会のあいさつ	
会議録	
○ 事業所の概要説明 職員体制・利用者様登録状況・介護度内訳・年齢内訳・平均利用者数	
○ 活動状況の報告	
H30 9月…敬老・10周年イベント(銭太鼓ボランティア来訪) 10月…調理レク(やきそば・おにぎり)・運動会 11月…調理レク(ちらし寿司) 12月…クリスマス会・調理レク(シチュー)	
H31 1月…新春お楽しみ会・調理レク(煮ごめ)・消防訓練 2月…調理レク(巻き寿司・いなり寿司) その他…生け花(毎月1回)	

○ ヒヤリハットや事故の報告

(事例1) 麻痺の方が椅子からの立ち上がり時にバランスを崩し、麻痺側に倒れそうになったところを別の方を介助中の職員が受け止めた事例。

【対策】 動作が比較的安定した方だったが、見守り中の職員のポジション取りや危険予測を行うことに気を付けている。

(事例2) 入浴場面で座位で浴槽への移動介助を行っていた。左半身麻痺もあり、浴槽へ入る途中にすんなりと左足が入らないことで焦り、職員も説明するが伝わらず、徐々にお尻の位置も浴槽のふちより大きくずれてきたため、職員の判断により、介助にていったん床に座ってもらった事例。

【対策】 事故には至らなかったが、利用者様と介助者の相互で確認をしたもとに動作に移していくこと、突然危険な状況が発生した場合は職員も適宜安全の確保を優先に考えて今後も対応していく。

○ 意見交換・質疑応答

・今は自宅でお風呂に入れませんが、ここでは不安なくお風呂に入れるので助かっている。職員も介助を工夫してくれたり、安心感がある。

・お風呂はどのようなやりくり(何人ずつ入るのか、職員の対応状況等…)で行っているのか教えて欲しい(職員より説明を行う)。自宅ではお風呂に入りたがらず、デイサービスでも入浴拒否があるようだが毎回入ってくれているので家族も気持ちにゆとりが持てている。

・入浴人数に制限を設けず、対応しているので家族はとても助かると思う。職員の負担にとらわれず、良い取り組みを行っている事業所だと感じる。

・認知症の夫を自分も看っていたが、デイサービスで入浴を済ませているのに帰宅しても入浴したが、自分自身の入浴のタイミングにも困っていたのを思い出した。認知症の方にとってお風呂は課題になりやすいが、職員も工夫している事が改めて分かった。

○ 次回開催は平成31年9月の予定